

人体の構造と機能演習	2 年・前期	1 単位	教授 安部 まゆみ
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32110282

1. 授業のねらい・概要

人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱならびに病理学で学習した内容に関する演習問題を解くことで、病態生理の基礎となる知識の定着をはかる。

2. 到達目標

- 1) 各臓器の大きさや形状，体内での位置，各臓器の相対位置関係などを具体的に描ける。
- 2) 各組織・細胞の形態と機能を把握する。
- 3) 各臓器や組織の機能の正常状態と異常（疾病・病態）を把握する。

3. 授業の進め方

講義を中心に進めるが，人体・臓器模型，プリントも利用する。学生の主体的な取り組みを促す。

4. 授業計画

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	国試・模試の解答・自己採点・解説 1～20	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部まゆみ
2	国試・模試の解答・自己採点・解説 21～40	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部
3	国試・模試の解答・自己採点・解説 41～60	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部
4	国試・模試の解答・自己採点・解説 61～80	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部
5	国試・模試の解答・自己採点・解説 81～100	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部
6	国試・模試の解答・自己採点・解説 101～120	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部
7	国試・模試の解答・自己採点・解説 121～140	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部
8	国試・模試の解答・自己採点・解説 141～160	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部
9	国試・模試の解答・自己採点・解説 161～180	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部
10	国試・模試の解答・自己採点・解説 181～200	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部
11	国試・模試の解答・自己採点・解説 201～220	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部
12	国試・模試の解答・自己採点・解説 221～240	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部
13	国試・模試の解答・自己採点・解説 241～260	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部
14	国試・模試の解答・自己採点・解説 261～280	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部
15	国試・模試の解答・自己採点・解説 281～300	講義	不正解の問題の解き直しと復習	安部

5. 成績評価の方法・基準

毎回の復習プリント提出内容 10 点/回 x 15 回 = 150 点満点：15%

定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上の出席した者）85 点満点：85%

6. テキスト・参考文献

テキスト：林正健二 編（2021）：ナーシング・グラフィカ人体の構造と機能① 解剖生理学 第 4 版 メディカ出版

杉本由香 監修（2022）：2022 年版看護師国試 PASS NOTE 学研メディカル秀潤社

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

既習の「人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ」「病理学」を毎回 1 時間程度，復習しておく事。

8. 受講上の留意事項

毎回の復習プリントは授業直前に教壇に提出する。この提出をもって出席とする。提出の際に、採点済みの前回提出の評価済プリントを返却する。

遅刻，欠席ならびに授業中の私語，許可の無い教室の出入り，授業に関係ない言動は慎む事。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の結果と模範解答は後日掲示する。質問・疑義は授業で，あるいは適宜個別に説明・対応する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合は進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施されます。

医療機関における医師としての実務経験と医学系大学院における教員としての教育経験を活かして、講義を行います。